

検	社長	専務	運行管理者
印			

## 2019（平成31年）年度 安全報告書

### ■年間の総括と次年度の目標

今年度の事故件数は年度初め早々に発生した物損事故1件のみであり、以降はほぼ1年間無事故を維持することができた。安全に対する意識が浸透し成果が上がったと言えるが、ことさらにその1件が惜しい限りである。事故報告書の分析では不注意に起因しているもので、防ぐことができたであろう事故であったことは誠に残念であった。より一層の安全意識を徹底し、次年度は重大事故はもちろん人身事故、有責事故ともにゼロの目標を達成したい。

ここ数年にわたって従業員の教育の強化と健康管理の徹底を重点施策として取り組んできたが、教育においては社外のカリキュラムの割合を増やし、技能研修や接遇講習、救命講習など多彩な教育の機会を作ることができた。また、健康起因事故防止のための健康管理の徹底については継続して睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査とフォローアップに取り組むことに加え、脳ドックの受診も3ヶ年計画で着手することができ、一層強化することができた。引き続き成果を求めていきたい。


年度終盤にかけて新型コロナウイルス感染症の全国的な流行という不測の事態が発生したが、安全費として予算組みしていた中の予備費等を充当することで車両消毒のための薬剤等を急ぎ調達できた。また、健康管理意識の延長で手洗

い、マスク、咳エチケットなど感染防止のための衛生管理対策はすばやく社内に周知することで、継続して危機管理意識を保つことができていると評価したい。

帰庫点呼でのデジタコによる法定速度超過のチェックは、総数は減少しているものの1～2キロのわずかな速度超過は年間を通じるとまだ多数にのぼる。より一層の安全意識をもって次年度の速度超過ゼロの目標達成を目指したい。

また、2019年4月より順次施行の働き方改革関連法をふまえ、「効果的・効率的でゆとりある業務環境の実現」の文言を2019年度から安全方針に追加したが、法定の有給休暇取得日数は消化できたものの、人手不足から残業時間、休憩・休息时间・休暇の取得など人員配置には一層難しさが増している。継続して働きやすい職場環境の構築に向け努力を続けたい。

令和2年3月31日

安全統括管理者 木村 英之 

## 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

青森観光バス株式会社は、輸送の安全の確保が自動車運送事業者の社会的使命と深く認識し、全社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという認識の徹底をはかるようにいたします。さらに、「最も優先されるのはお客様の安全である」を根幹とし、三協グループの企業理念において「安全の確保」を第一の使命と徹底しております。また、お客様からの信頼に応え、社会的責務を果たして参ります。

1. 安全を何より最優先する組織・社風の構築
2. 安全マネジメント体制の確立と継続的改善等の実施
3. 安全を支える従業員の能力向上と健康の確保
4. お客様の安全を第一に考えた輸送とサービス・マナーの提供
5. 安全輸送に関する関係法令等の遵守
6. 安全輸送に関する情報の積極的な公表の実施
7. 効果的・効率的でゆとりある業務環境の実現（働き方改革）

以上の方針に基づき、「安全の確保」に向けた不断の努力を重ねて参ります。

## 2. 輸送の安全に関する目標および当該目標の達成状況

### 1. 輸送の安全に関する目標

- ① 有責事故件数 平成 30 年度 ゼロ
- ② 有責重大事故 平成 30 年度 ゼロ
- ③ 法定速度超過 ゼロ
- ④ 無事故継続日数目標 365 日

上記を目標とし、達成のために事業所ごとの点呼所に目標を掲示し、点呼の際に管理者と共に毎回確認する。事業所内にも掲示し、全社員で確認し続けると共に、来社されるお客様にも公表することで全社員の責務向上の励みとする。

### 2. 目標の達成状況

上記に掲げた平成 30 年度の輸送の安全に関する目標の達成状況は以下の通り

- ① 有責事故件数 ゼロ → 有責事故 1 件
- ② 有責重大事故 ゼロ → ゼロ 目標達成
- ③ 法定速度超過 ゼロ → わずかな法定速度超過が多数あり
- ④ 無事故継続日数目標 365 日 → 未達成（年度末日時点で 363 日）

#### 4. 2020年度安全費予算

輸送の安全の確保のため次年度は以下のとおり安全費を計上する。

2020年度予算計画における輸送の安全に関する予算額（安全費）

項目	本社営業所	三沢営業所
脳ドック受診	170,000	30,000
SAS フォローアップ費用	300,000	150,000
研修・教育費 教材費	150,000	50,000
感染症防疫費	100,000	100,000
受動喫煙対策費用	50,000	
運行管理・安全管理用PC	100,000	100,000
ASV装備付車両導入費	1,000,000	
予備費	300,000	200,000
小計	2,175,000	625,000
合計		2,800,000